

県立麻生高等学校における不祥事防止・根絶に向けた取組

本校では、不祥事の防止・根絶に向けて、次のような取組を行い、信頼される学校づくりを進めます。

1 教職員の意識改革に関すること

<行動目標>

- 教職員一人ひとりの規範意識を高めるとともに、法令やルールを遵守するコンプライアンス意識の向上に努める。
- すべての教職員が不祥事を他人事と捉えず、誰にでも起こりうる当事者意識・危機意識を持つ。

<未然防止に向けた取組>

- ・校内研修の実施、ヒヤリハットの事例、新聞報道記事など、様々な事例を教職員全体で共有する。
- ・できるだけ教職員全員が同じ職員室に集い、互いに相談し、声を掛け合える環境をつくる。

2 飲酒運転に関すること

<行動目標>

- 交通ルールを遵守し、飲酒運転は絶対にしない。
- 酒席等における注意事項・ルールを確認する。

<未然防止に向けた取組>

- ・宴会場所には自家用車で行かないようにする。(運転する状況を作らない)
- ・酒席開催に配慮する。(設定日を配慮する。宿泊施設、交通手段の調査周知など)
- ・教職員同士が帰宅方法について互いに確認する。
- ・酒席での飲酒をしないことへの寛容する環境作りを促進する。
- ・深酒をした翌日は、車で出勤しない。(公共交通機関または家族の送迎協力など)
- ・運転代行を利用して帰宅する場合は、酒席の前に運転代行を予約するとともに、自宅敷地内までの到着を徹底する。

3 信用失墜行為(盗撮・わいせつ行為・SNS利用等)に関すること

<行動目標>

- 信用失墜行為につながるような言動をとらない、環境をつくらない。
- 教職員同士による積極的な声かけ、相互観察を行う。

<未然防止に向けた取組>

- ・教職員としての自覚を持ち、様々な場面で他者からの目を意識して職務にあたる。
- ・何が信用失墜行為に当たるのかを明確に理解するとともに、研修を通して職員への注意喚起及び信用失墜行為を行った場合の処遇などを把握する。
- ・できるだけ生徒と教職員が1対1になる指導の場をつくらない。
- ・生徒と私的なメールやLINE等のやり取りは絶対に行わない。
- ・カメラ等が設置できないよう、日頃からトイレや更衣室等を整理整頓する。
- ・教職員相互で、わいせつ行為につながる予兆がないか気につけ、予兆に気付いた場合は、速やかに管理職に報告するなど、風通しの良い職場環境づくりに努める。

4 個人情報の取扱（答案用紙等・個人情報漏えい）に関すること

<行動目標>

- 個人情報を適切に管理する。個人情報管理を徹底する。
- ガイドライン等を遵守する。（情報を学校外に持ち出さない）

<未然防止に向けた取組>

- ・原則として、学校外に児童生徒の個人情報等が入ったパソコンやUSBメモリ等を持ち出さない。
- ・やむを得ず、電子情報や個人情報を持ち出す場合は、校長の許可を得た上で、盗難、紛失がないよう細心の注意を払う。
- ・常に周囲に気を配るとともに、慌てずに職務にあたる。個人情報を動かすときには、まず周囲に意見を求める。
- ・LINE等のSNS等で情報が拡散する危険性を認識し、個人のスマートフォン等の公的使用においては細心の注意を払う。
- ・資源節約のため裏紙利用をする際は表面の内容に注意する。
- ・定期考査初日から全生徒へ答案を返却するまでの期間は、シュレッダーの使用を禁止する。
- ・様々な場面（保管・廃棄等）において複数の目でのチェック（ダブルチェック）する。

5 体罰・ハラスメントに関すること

<行動目標>

- 生徒一人ひとりの人権を尊重し、適切な生徒指導・支援を実践する。
- 教職員同士による相互観察を行い、風通しの良い職場環境を整える。

<未然防止に向けた取組>

- ・生徒に対して、一人前の人間としての対応を心掛ける。（体罰や暴言、不適切な指導等を行わない）
- ・教職員相互に体罰や暴言の予兆がないか気を付け、部活動顧問会などで体罰防止について協議や研修を行う。
- ・定期的に被害調査アンケートを実施し、未然防止と早期発見に努める。
- ・複数の教職員で連携して対応するなど、他の教職員がフォローできる体制を整備する。
- ・管理職は、授業や部活動の状況を確認するとともに、生徒・教職員からの情報収集に努める。